

## 2024年度

### イオンゆめみらい保育園津南 自己評価総括表

地域社会における保育施設として、その運営や保育内容について、自らの保育実践を振り返り、自己評価を行いましたので、その結果を以下の通り公表いたします。

また、本自己評価の結果を踏まえ、今後も更なる専門性の向上や保育実践の改善に努め、より一層質の高い保育の実践を目指してまいります。

評価方法		
保育士等（全職員）の自己評価	評価期間	2025年1月1日（水）～1月31日（金）
	実施方法	全職員に自己評価について趣旨を説明し自己評価を実施した。
保育施設の評価	評価日	2025年3月20日（木）
	実施方法	話し合いにより職場全体で共有し、保育施設の課題を明確化し、改善策を検討した。

項目ごとの評価	
保育理念	【「いきいき」過ごせる環境、「わくわく」楽しめる活動】を意識し、目標にした。職員も子ども達も、皆が笑顔で安心して思いっきり活動できる園づくりを目指した。
子どもの発達援助	ひとり一人の個性や成長しつつある力を多面的に考え、発達段階に応じた経験が出来るよう保育計画を立てた。ひとり一人を大切にし、楽しめる活動を、遊びの中に取り入れることが出来た。
保護者に対する支援	連絡ノート・登降園時の保護者との会話により、それぞれの家庭環境を理解し相互理解を図った。社会人としての常識を持ち、専門職の保育士として適切な行動や言動を意識し、寄り添うことを心掛け行った。
保育を支える組織的基盤	それぞれの保育士の持ち味・経験を活かせる保育の実践を心掛け行った。保育士同士が刺激し合い、主体的に学び合い、お互いのスキルアップに繋げることにより、今後も保育の向上を目指していきたい。

総評
<p>職員の入れ替わりや、途中入園の子ども達の年齢の偏りにより、年度途中での担当クラスの変更を行った。互いに思い合うことで、保護者様にも理解を頂き、皆が状況を把握し、一丸となって時々に応じた保育を行うことが出来た。</p> <p>クラス編成を細かくしたことで、子ども達にとって、発達にあったより過ごしやすい環境となった。事故や怪我を事前に防げるよう、保育室内・園庭・園外において、安全管理についてのルールを決め、意識的に保育を行ったことで、事故無く過ごせたことが評価される。</p>

